

京王線新宿駅の乗換え経路等の改善について

新宿駅西口の地下広場では、京王線新宿駅から東京メトロ丸ノ内線方面への乗換え動線と、東西自由通路からの東西方向の歩行者動線が交錯している。

また、京王線新宿駅のホーム中央やJR新宿駅と接続する地下連絡通路等では、旅客が極度に集中し、歩行者の円滑な移動が妨げられているなど、利便性に課題がある。

こうした課題の解決に向けて、京王電鉄は、国土交通省の補助制度である「鉄道駅総合改善事業」を活用し、バリアフリーに配慮した乗換え経路の新設等、京王線新宿駅の総合的な整備を計画している。この総合的な整備により、西口地下広場での歩行者動線の交錯等による混雑や、京王線新宿駅での利用者の局所的集中の改善が図られ、新宿駅周辺を利用する区民の利便性が向上する。

このことから、区は、東京都と連携し、補助金を交付して京王線新宿駅の改善を促進していく。

1 鉄道駅総合改善事業

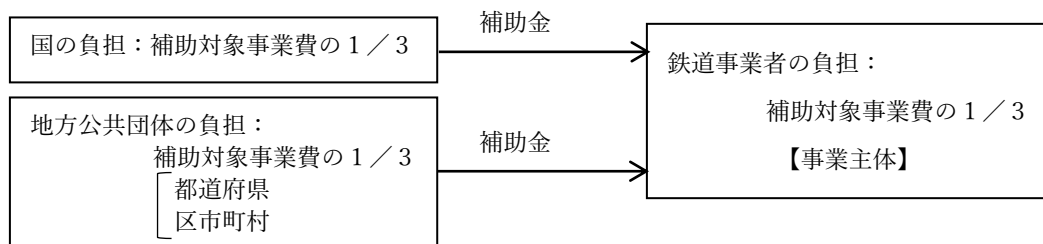
(1) 概要

地方公共団体、鉄道事業者、地方運輸局からなる協議会において策定された整備計画に基づき、ホームやコンコースの拡幅等の駅改良、バリアフリー施設や観光案内施設等の駅空間の高度化に資する施設の整備に対して支援する。

(2) 事業主体

鉄道事業者

(3) 事業スキーム



2 京王線新宿駅総合改善事業の概要

(1) 事業期間

令和6(2024)年度～令和13(2031)年度

(2) 工事概要 … 資料1

京王線新宿駅において、地下2階に位置するホームを丸ノ内線側へ約25メートル延伸し、改札を新設する。これに併せて丸ノ内線方面への連絡通路を整備することにより、地下1階に位置する西口駅前広場の歩行者交錯等による混雑や、京王線新宿駅でのホーム中央及び京王線新宿駅とJR新宿駅を結ぶ地下連絡通路の利用者の局所的集中の改善を図る。

ア 改札新設、ホーム延伸

イ バリアフリー施設整備（ホームドア、トイレ等）

ウ 駅空間高度化機能施設の整備（観光案内所）

(3) 事業費

約 62.3 億円

(4) 補助対象事業費

約 54 億円（上記工事概要のうち、アとウ）

3 京王線新宿駅総合改善事業の実施に伴う区の負担額について

京王線新宿駅総合改善事業の補助対象事業費（約 54 億円）のうち、地方公共団体負担分については、以下のとおりである。

(1) 負担割合 … 資料 2

京王線新宿駅利用者のうち、新宿区内を出発地または到着地とする利用者（約 30%）と、発着地ともに区外である利用者（約 70%）の割合に応じて、区 30%、都 70% を負担する。

(2) 区の負担額

補助対象事業費約 54 億円のうち、地方公共団体負担分 1/3（約 18 億円）を（1）の負担割合（30%）で算出した約 5.4 億円とする（都は約 12.6 億円）。

4 第三次実行計画での位置付け

京王線新宿駅総合改善事業は、国の補助金を活用し、都及び京王電鉄と連携しながら計画的に事業を促進していく必要があることから、第三次実行計画に位置付ける。

5 今後の予定

令和 5 年 11 月 8 日 環境建設委員会

11月下旬 鉄道駅総合改善事業に基づく協議会設置

令和 6 年 3 月 都区負担割合に関する覚書締結（区・都）
整備計画策定（協議会）

令和 6 年度 事業着手

令和 12 年度 新改札供用開始

令和 13 年度 工事完了